

杉並区立松溪中学校 令和4年度学校運営協議会 第6回議事録

- 1 開催日時 令和4年11月14日(月) 16:00~17:10
- 2 開催場所 杉並区立松溪中学校 多目的室
- 3 出席委員 檜枝光太郎、恵羅 博、望月航二郎、石井良典、目黒由美、渡邊 麗
佐藤伸彦、飯島裕子、辻 成一郎校長
- 4 出席(学校) 小川隆一副校長
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容(次第)

【1】会長より

本日の協議事項では、来月開催予定の西田小CSとの合同会議で何を協議していくかを話し合います。学校が小中一貫教育の資料を用意してくれたので、参考にしたいと思います。

【2】学校長より

①1年間の教育活動を評価する時期となりました。昨年度の質問項目に対して、修正や追加等のご意見があればうかがいたいと考えています。

②現状では、不登校対応と学力の二極化を課題と考え、新しい取り組みを進めています。

③不登校対応については、今年、校内に適応指導教室を整備し、名称を「個別対応教室」としました。教室の利用の仕方を決めて職員と保護者に周知しました。現在、10名程度の申し込みがあり対応していますが、実際に全ての生徒が登校できているわけではありません。木曜日には、スクールカウンセラーによる面接もできるようにしています。職員室のホワイトボードには、今日は誰が来ているか分かるようにし、職員が出来ることを考え取り組んでいます。生徒には、自分で登校時間を決めさせ、テストへの準備学習をさせたり、帰る時には振り返りをさせたりしています。目的を持って登校できている生徒が増え、ほぼ毎日登校できている生徒もいます。完全に不登校の生徒は大幅に減少しています。しかし、個別の学習に対応するスタッフや心理面でのケアができるスタッフが不足していること、各生徒の状況は様々なので目指す到達点をどこに設定するかが課題となっています。

④今年度は、生徒を地域活動のボランティアとして参加させる取り組みも進めました。先日開催されたあそび市にも生徒が参加し、今年度は1月21日の震災救護所訓練のみとなりました。来年度のボランティア活動への参加については、年度当初に一括して募集したいと考えていますので、中学生に手伝ってもらいたい活動がありましたら、3月までにお知らせいただくとありがたいです。

【3】協議事項

【西田小CSとの合同会議の協議内容について】

①学校では、「小中一貫教育全体計画」に従って年間計画を作成し、3校(松溪中、西田小、桃二小)のコーディネーターを通して具体的なことを話し合っており実施しています。(配付資料有)3校で年間3回の合同研修会を開催するなどしているが、教科の指導ではどんなことを意識し、どう指導していくかを詰め切れていないのが課題と考えています。特に英語と算数・数学の指導で連携一貫をやっていけると良いと考えています。

②CSの合同会議では、まず、先生方が小中一貫で何を課題と考えているかを知りたいと思います。私達の外側からの意見だけでなく、現状と課題を小中学校の校長先生からうかがいたいと考えます。

③杉並区では以前から小中一貫を計画的に進めているが、CSはまだ交流段階なので、小中学校が実施している一貫教育の現状と課題を話してもらうことで、議論のきっかけとなるのではないかと思います。

④他のCSとの合同会議では、まず顔合わせし、それぞれの学校でどんなことをやっているかを話してもらい、質問することから始めたらよいと思う。小中一貫の具体的な活動は、それぞれの地区の学校に任せられているので、その内容を話してもらわないと分からないと思います。

⑤同じ地域の中で、小学校から中学校へと人（子ども）が流れていくものなので、子どもが交流することにメリットがあることは分かるが、具体的に何をすればメリットが大きいのかを考えることが必要だと思います。子どもから見たメリットと先生方から見たメリットも違うと思います。地域の活動で交流するのも、教科の技術を上げるのも良いが、いろいろなことがごっちゃになっていると思います。全部網羅するのではなく、整理し、コストを考えてしぼった方が良いと思います。

⑥小中一貫は、その地域で何をテーマにするかが大切だと思います。小中一貫が上手くできている時には、小学校の先生が中学校に行っても、中学校の先生が小学校に行っても顔が見えるものです。先生方の関係さえできれば、上手くいくと思います。

⑦教科の一貫については、この地域で本当に必要なことなのか私には分からないことです。小中の交流は、小学校から中学校へ進学する際の段差を滑らかにするために必要なことだと思います。

⑧あそび市での子ども達の交流は良いと思いました。体験することで子どもは成長すると思います。しかし、何もかもはできないと思います。

⑨あそび市はこの3年間実施できていなかったもので、ボランティアで参加した生徒は、自分が小学校の時にやっただけの経験でした。しかし、ボランティアで参加した生徒は、地域の人や小さい子と触れ合えて良かったと感じていました。まずは、この地域の中にいる自分を知ってもらうことから始めてほしいと思います。

⑩合同会議では、共通の話題はあっても、まずは顔合わせをし、何かをしようとはまではいかないと思います。普段からできる挨拶運動を進めて欲しいと思います。

⑪資料（指導計画）を見ると、西田小と桃二小でもやっていることが違う、色が違うと思いました。まずは、お互いを知ることからかなと思いました。

⑫西田小の学区の子どもは、全てが松溪中の学区に住んでいるわけではなく、桃二小の子どもも半分が別の中学校が学区になっています。子ども達には、中学校としてのくくりでなく、自分が住んでいる地域を意識させた方が良いのではないかと思います。小中が地域で交わるのは、震災時ではないかと思います。防災やお年寄りが増えていることも共通項目になるのではないかと思います。

【4】学校報告

①10月21日（金）1年生いのちの授業（NPO 法人ピッコラーレ講演）

②10月24日（月）第1回PTA主催給食試食会 ※第2回は10月27日に実施

③10月25日（火）2年生日本奇術協会ワークショップ

④10月26日（水）小中合同研修会（於：西田小）

- ⑤ 10月28日（金）3年生三者面談（始） 11月4日（金）まで
- ⑥ 11月 1日（火）1年生校外学習（東京・下町）
- ⑦ 11月 3日（木）成田地区防災ウォークラリー（生徒ボランティア参加）
- ⑧ 11月 5日（土）あそび市（生徒ボランティア参加）
- ⑨ 11月 6日（日）パラバドミントン世界選手権大会（希望生徒が観戦）
- ⑩ 11月 8日（火）避難訓練
- ⑪ 11月12日（土）土曜公開授業 1年生職業人の話を聴く会 教育実習生（終）

【5】その他

7 次回予定

令和4年12月19日（月）16：00～ 松溪中学校多目的室にて